

## 第 48 回自然災害科学総合シンポジウム

「東日本大震災を踏まえた今後の防災について」

主催：京都大学防災研究所自然災害研究協議会  
日程：平成 23 年 9 月 13 日（火）～14 日（水）  
場所：キャンパスプラザ京都 5F 第 1 講義室  
京都市下京区西洞院通塩小路下ル（TEL 075-535-9111）  
JR 京都駅ビル駐車場西側・京都中央郵便局西側  
[http://www.consortium.or.jp/category\\_list.php?frmCd=14-0-0-0-0](http://www.consortium.or.jp/category_list.php?frmCd=14-0-0-0-0)  
参加費：無料

### プログラム

9 月 13 日（火）

13：00～ 受付

13：30～13：40

開会挨拶 自然災害研究協議会議長 寶 馨（京都大学防災研究所教授）

13：45～14：45

【科学研究費補助金・特別研究促進費による突発災害調査研究  
平成 22 年度報告および 23 年度速報】

司会 西上欽也（京都大学防災研究所教授）

「2011 年霧島火山（新燃岳）噴火に関する総合調査」

研究代表者(代理) 森田裕一（東京大学地震研究所教授）

「2011 年東北地方太平洋沖地震に関する総合調査」

研究代表者 篠原雅尚（東京大学地震研究所教授）

14：45～15：10

【平成 22 年度自然災害研究協議会による災害調査】

「2010 年 10 月奄美大島豪雨災害調査報告」

研究代表者 二瓶泰雄（東京理科大学理工学部准教授）

（休憩 5 分）

【平成 23 年度京都大学防災研究所重点推進型共同研究（23-N01）自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の構築に関する研究】（その 1）

15：15～16：15

1) 東日本大震災からの教訓 I

司会 小林文明（防衛大学地球海洋学科教授）

「釜石湾口防波堤の被災メカニズムとその効果について」

有川太郎（港湾空港技術研究所上席研究官）

「浮体式津波避難シェルターの実用化に向けた取り組み」

重松孝昌（大阪市立大学大学院工学研究科  
都市系専攻環境水域工学分野教授）

16：30～17：45 平成 23 年度第 2 回自然災害研究協議会（第 1 講義室）

9月14日(水)

【平成23年度京都大学防災研究所重点推進型共同研究(23-N01)自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の構築に関する研究】(その2)

9:30~10:15

1) 東日本大震災からの教訓 II

司会 小林文明(防衛大学校地球海洋学科教授)

「東日本大震災に伴う死者・行方不明者の特徴」

牛山素行(静岡大学防災総合センター准教授)

10:15~12:00

2) きたるべき東海・東南海・南海地震に向けて

司会 能島暢呂(岐阜大学工学部社会基盤工学科教授)

「徳島における東南海・南海地震対策の現状」

中野 晋(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部教授)

「東海・東南海・南海地震の連動発生に向けた総合防災研究

—東日本大震災から考える、「4連動」シナリオ—

古村孝志(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター教授)

13:00~15:00

3) 災害情報のこれからの役割

司会 横松宗太(京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授)

「災害情報の歴史を顧みて」

北原糸子(立命館大学歴史都市防災センター教授)

「膨大な資料から社会現象としての災害を観る—TRENDREADER(TR)による言語資料の解析—」

佐藤翔輔(東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター)

「災害時のデータベース構築支援技術の開発—QRコードを活用した災害情報処理—」

東田光裕(NTTサービスインテグレーション基盤研究所)

「災害におけるマスメディアの役割—“わがこと”としてどう伝えるか—」

大牟田智佐子((株)毎日放送・京都大学防災研究所非常勤講師)

(休憩 10分)

15:10~16:00

自然災害に関する総合討論

司会 平石哲也(京都大学防災研究所教授)

16:00~16:10

閉会あいさつ

寶 馨(自然災害研究協議会議長, 京都大学防災研究所教授)